

至仏山山行報告

【山行日】2019年8月10(土) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 5:00

【費 用】マイカー1台 : 4,600円

【メンバー】CL:鈴木、SL大西、安西、梶内、
島田、鈴木七、渡辺

【コースタイム】岩舟支所 P5:00＝戸倉駐車場

6:40/7:00＝鳩待峠 7:20/7:40～山ノ鼻 8:35/8:50

～至仏山 11:55/12:25～オヤマ沢田 13:45/13:55

～鳩待峠 15:00/15:10～戸倉 P15:35/15:50＝

岩舟支所 P18:00



至仏山に登りたいというリクエストがあり、鳩待峠から山ノ鼻経由で登る周遊コースを計画した。岩舟支所を5時に出発し、北関東道から関越道を進み沼田 IC で降り国道120号線を通り戸倉の駐



車場に着く。出発の準備を整え、トイレを済ませたらワゴンタクシーに乗り鳩待峠に向かう。タクシーの運転手の話では、山ノ鼻の尾瀬植物研究見本園にクマがでて通行禁止になっているとの事。詳細は鳩待山荘で確認してくださいとの事である。鳩待峠の駐車場に着き、鳩待山荘に行き山ノ鼻から至仏山への登山道を確認すると「そこは通れます」との返事で安心する。トイレを済ませ、ストレッチを行ってから山ノ鼻に向かって出発する。最初はブナ林の

中石畳の道を下って行き、所々に木段や木道が付けられ安全に下ることが出来る。左の川上川の流れが近づき、傾斜が緩くなると木道の左右に小さな湿原が現れる。水芭蕉の葉が大きく成長し、花の時季の可憐な面影は無くなっている。やがて川上川を木の橋で渡り、ブナやダケカンバの林を抜けると山ノ鼻に到着する。ビジターセンターや山小屋、休憩所等の施設があり、大きなトイレも設置され多くのハイカーが休んでいる。我々はトイレを済ませたら、左に植物研究見本園の方へ進み、湿原の中のベンチで休憩する。こちらはほとんど人が居なくて静かで、景色を楽しみながらナシをいただく。湿原の木道を進むと至仏山の登山口になり、「植生保護や登山者の安全の為上り専用」の標識が立っている。



ここからはいきなり急登が続き、樹林帯の中の岩や木段の急坂を登るようになる。

暑さと急登で汗が一気に噴き出て、頭や顔から滴り落ちる。後ろから岡山県の高校生のパーティが勢いよく登って来て、道を譲るとアツと言う間に見えなくなる。さらに同じ高校のパーティが次々に登



って来て、我々を追い越して過ぎ去る。山岳部では無いようだが、我々シルバー隊とは勢いがまったく違っていった。

40分程登ると樹林帯を抜け、灌木の間を登るようになり陽射しを受けてさらに暑くなる。視界が開け開放的な気分になれるが、本格的な登りはこれからだ。歩きにくい階段や滑りやすい蛇紋岩の岩場を登るが、キンコウカやヒメシヤジン、ウスユキソウ等が疲れを癒してくれる。振り返ると眼下には尾瀬ヶ原が大きく広がり、その奥に

は燧ヶ岳がそびえている。休憩を取りながらゆっくりしたペースで登り、高度を徐々に上げて行く。高天原を過ぎると傾斜が緩くなり、タカネナデシコやタカネシオガマ、イワシモツケ等数多くの花が咲き競い、平ヶ岳や日光連山の眺めが良い。お花畑や展望を楽しみながら、緩やかに登って行くと至仏山山頂に到着する。山頂からの展望は申し分なく、谷川連峰、平ヶ岳、上州武尊山など360度の大展望が得られる。山頂標識前で記念写真を撮り、北側の展望が良い場所に移動しランチタイムとする。本日の山ご飯は冷やしうどん。流水麺を氷水で冷やし、冷たい麺つゆとネギやミョウガ、

カニカマをトッピングしたうどん、暑い日のランチには最高の御馳走だ。出汁巻き卵やピー味噌なども並び、豪華なランチを楽しんだ。お腹が満たされたら下山する。下山は南側に下り、小至仏山からオヤマ沢田代を経由し鳩待峠に下る。至仏山から小至仏山までは、滑りやすい蛇紋岩の登山道を歩く。しかし展望は抜群の尾根歩きで、道の両脇にタカネナデシコやホソバヒナウスユキソウ等の花が咲き、楽しく下って行く。緩やかに登り返すと小至仏山に着き、360度の展望



を楽しむ。ここから急な岩場の下りになり、やがて木道を歩くと大きなベンチあり休憩する。湿原にアヤマメが群生しており、冷たいナシを食べながらお花を觀賞する。ベンチの下にビデオカメラの忘れ物があり、さっきまで休んでいた親子連れのものだと思い届けることにする。ベンチの先から樹林に入り、笠ヶ岳への道を右に分けるとオヤマ沢田代。湿原を木道で横切ると樹林帯に入り、大岩があるお花畑を過ぎるとブナやダケカンバの広葉樹に変わり、道なりに下ると鳩待峠に着く。

鳩待峠の手前で親子連れに追いつき、無事ビデオカメラを渡すことが出来た。

ここから今朝乗って来たタクシー会社に TEL し、鳩待峠の駐車用に行くことと直ぐに乗ることが出来た。戸倉の駐車場に着き、トイレを済ませたら車に乗り帰路につく。途中、道の駅「かたしな」に寄り、野菜やお土産をゲットする。関越道が赤城PAから前橋ICまで渋滞したが、北関東道はスムーズに走り予定より早く岩舟支所に帰着した。